

イワウメ

イワウメ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

Diapensia lapponica L. ssp. *obovata* (F.Schmidt) Hultén

国カテゴリー

該当なし

選定理由

生育地が白山の高山帯の一部に限られている。(現況:RO)

形態

長さ6～15mmの革質の厚い葉を密生する。長さ1～2cmの花柄の先に上向き白い花を1個つける。花冠は鐘形で先は5裂し、裂片は開いて先は丸い。白い花が「ウメ」を思わせる。

国内分布

北海道、本州中部以北。

県内分布

白山高地区。

生態など

ほふく性の小低木、花期は7月。

生育環境

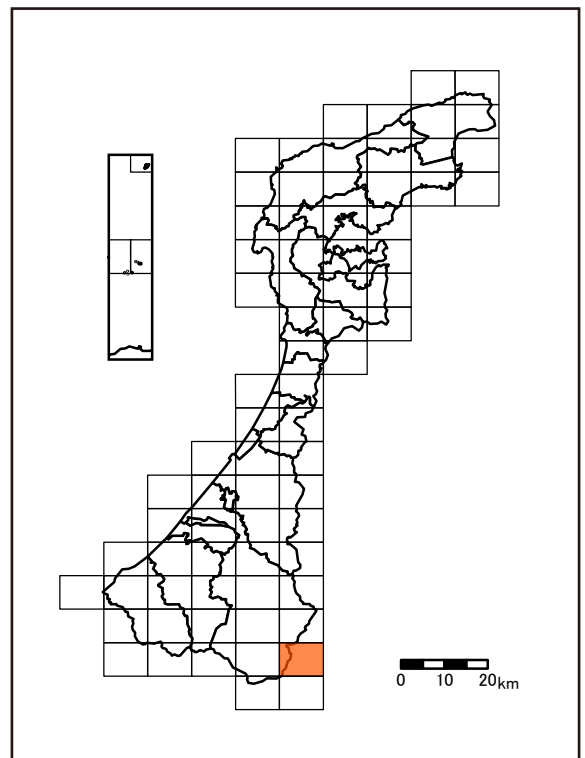
高山帯の岩隙、岩屑地。

危険要因

踏みつけ、園芸採取、産地局限、岩場の崩壊。



白井伸和・2007年7月4日・白山



県内の分布